

令和5年度 坂井市立東十郷小学校 学校評価

項目	重点目標	回答者	アンケート項目	目標指数 1+2(%)	結果 1+2(%)	成果と課題	改善策・向上策
1 学習指導 「学ぶ子」	読書習慣の定着	教職員	・読書	90	100	・今年度も学校司書の先生のおかげで、学級文庫の本が充実しており、教室内で本を読む環境が整っていた。また、国語等の教材に必要な本も、十分な数を準備してもらい、授業の中でも本を活用して学習する機会を多くもつことができた。	・朝読書の時間は10分間確保し、じっくり取り組む時間を作る。 ・月に1回程度、学習活動などを通して図書室を利用する時間を設ける。 ・次回は、先に読書の記録を持ち帰らせてから学校評価アンケートをとりたい。
		児童	・読書	90	84		
		保護者	・読書	80	53		
	授業内容の工夫と改善	教職員	・わかる授業	90	100	・児童用デジタル教科書を活用した授業を多く取り入れたため、手軽に学習活動に参加できた。また、デジタル教科書を使うこと自体を楽しんでいた。 ・ペア学習やグループ学習を積極的に行い、自分の考えや意見を言う活動が充実していた。 ・数年前よりポジティブ教育で行ってきた話の聞き方名人が定着してきているのか、授業や集会などで、聞く姿勢が整っている。	・引き続き、タブレットを使った学習活動を取り入れる。 ・引き続き、授業や単元毎に振り返り活動を行い、児童が自己の成長を実感したり、学び合いや深め合いに活かしたりしていけるようにする。 ・今後も授業や集会で聞き方について指導していく。
			・意見や考え	90	100		
		児童	・授業理解	90	94		
			・話の聞き方	90	97		
			・自分の考え	90	91		
		保護者	・授業理解	90	89		
	家庭学習の習慣	児童	・家庭学習	90	91	・学校から出されている課題は、ほとんどの児童が提出できている。 ・保護者の家庭学習に対する関心が薄い。	・学校だよりなどで家庭学習に目を通すメリットなどを発信する。 ・子育て講演会を企画する。
保護者		・家庭学習	90	78			

令和5年度 坂井市立東十郷小学校 学校評価

項目	重点目標	回答者	アンケート項目	目標指数 1+2(%)	結果 1+2(%)	成果と課題	改善策・向上策			
2 生活指導 「素直な子」	「豊かな心」	あいさつ・正しい言葉づかい	教職員	・あいさつ	90	100	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の中では、おおむね元気よく挨拶をすることができている。 ・自分から進んで挨拶できる児童が増えた。 ・家庭や、地域の方、見守り隊の方、来校者への挨拶が不十分であると思われる。 ・言葉遣いの数値が、目標を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶に関しては、今年度から「いつでも、なんどでも、どこでも、だれにでも」を合い言葉に朝礼や集会、各学級で継続して指導する。 ・教職員が率先して挨拶をする。 ・学校生活の中で、気になる言葉遣いを教職員が指摘し、言葉の大切さや正しい使い方を指導する。 		
				・言葉遣い	90	95				
			児童	・あいさつ	90	93				
				・言葉遣い	80	97				
		保護者	・あいさつ	90	82					
			・言葉遣い	80	79					
		きまりを守り安全な生活	教職員	・楽しい学校生活	100	100			<ul style="list-style-type: none"> ・、昨年度に引き続き、学校生活を楽しいと感じている児童が多い。 ・清掃活動に一生懸命取り組むことができている。 ・きまりを守ることや正しい身なりを意識して学校生活を送ることができている。 ・ネットの約束や、スマートルールを守れていない児童が多く、目標を大きく下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が情報モラル教育を学期ごとに行い、低学年のうちからSNSの使い方や情報モラルについての学習を行う機会を確保する。また、外部講師を招き、情報モラルに関する講演会を開く。 ・情報モラル教育や講演会の内容については、学校便りやホームページ等を通じて、積極的に周知し、家庭と学校が連携して、ネットトラブルの未然防止に努める。 ・来年度も「スマートルール」をご家庭で見直す機会を設けていく。
				・廊下を走る	100	85				
	児童		・楽しい学校生活	100	96					
			・掃除	90	97					
			・きまりを守る	90	98					
			・廊下を走らない	90	92					
	保護者		・楽しい学校生活	100	96					
			・ネットの約束	90	69					
	・スマートルールを守る	80	67							
	いじめ未然防止	教職員	・いじめのない学校	100	100	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなトラブルはあるが、その都度、教職員が両者の話を聞き、解決している。また、解決が難しい場合には、学年主任や生徒指導主事、管理職などでチームを作り、解決を図っている。また、解決後も、保護者に連絡をして見守っている。 ・学校の話をする数値が目標に達した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに実施している「心のアンケート」をもとに、教職員が全校児童を対象にカウンセリングを行っている。アンケートには書かれていない悩みや不安を聞くことができるため、今後も継続していく。 			
			・人間関係に配慮	100	100					
		児童	・友達仲良く	100	97					
保護者		・いじめ不登校	100	90						
		・学校の話をする	90	90						

令和5年度 坂井市立東十郷小学校 学校評価

項目	重点目標	回答者	アンケート項目	目標指数 1+2(%)	結果 1+2(%)	成果と課題	改善策・向上策		
3 健康な生活 元気な子	「たくましい心と体」	体力づくりの 推進	教職員	・体力向上	100	100	<p>・児童の「進んで運動」が4P数値が下がった点について、天気によって左右されることが多かったからだと考えられる。晴れていても高温で体育館やグラウンドが使用できなかったため、冷房の室内で過ごすことが多かった。</p> <p>・校舎内でもできる運動を進めていく必要がある。天気の良い日は、気温を考慮して外で遊ぶ機会を増やせるように外遊びをできるだけ推奨していく。</p> <p>・いきいきタイムの再開については、校時の検討も必要となってくるので、再度職員で検討していきたい。</p>	<p>・今年度も学校保健委員会を児童保健委員が主体となって、心のバランスについてや生活リズムの課題を児童になげかけた。</p> <p>・今年度より「ハッピースマイルチェック」に名称を変えて生活リズムをチェックしているが、児童の実態について教職員がしっかり見ながら継続して指導していく必要はある。</p> <p>・感染症対策について、新型コロナが第5類に引き下げられて以降、インフルエンザや他の感染症の流行も見られた。今後学校において感染症対策を継続していく必要がある。</p>	
			児童	・進んで運動	90	94			
			保護者	・体を動かす	90	82			
		健康的な生活習慣	教職員	・早寝早起き	100	100			<p>・早寝・早起きについて、教職員では目標を達成しているが、児童の数値が昨年より12P下がっていた。</p> <p>また昨年と同様に、児童と保護者の間も数値に差がある。保護者が早寝を促しても習いごと等で遅くなってしまう日や、高学年になると保護者の目の届かないところでスマホの使用していたり、ゲームをグループで行ったりと遅くまで起きている児童がいるようだ。</p> <p>・朝ごはんの数値は、昨年に引き続き高い。</p>
				・食生活指導	100	100			
			児童	・早寝早起き	95	87			
	・朝ごはん			100	98				
	保護者		・早寝早起き	95	77				
			・朝ごはん	100	99				

令和5年度 坂井市立東十郷小学校 学校評価

項目	重点目標	回答者	アンケート 項目	目標指数 1+2(%)	結果 1+2(%)	成果と課題	改善策・向上策			
4 開 か れ た 学 校 づ く り	教育 学 校 活 動 の 開 発 ・ 信 頼 さ れ る 学 校	教職員	・学校公開・行事	95	100	・コロナの5類移行や150周年の影響もあり、授業参観の参加率は、昨年に引き続き約90%、その他の学校行事でもたくさんの保護者が来校していた。 ・資源回収や奉仕作業等のPTA活動には、たくさんの保護者や地域の方々の協力を得ることができた。 ・校長先生、教頭先生の尽力により、HPを頻繁に更新できた。	・HPをスマホでも見れるような形式に切り替えていく。			
			・情報発信	100	100					
		保護者	・学校行事参加	90	97					
			・情報発信	90	96					
		地域 人 材 の 活 用	教職員	・地域人材の活用	100			100	・例年通り、クラブ活動やおしゃべりルーム、人権教室、ひまわり教室に加えて、150周年式典に向けて、ふるさと教育を充実したことに伴い、地域の人災を大いに活用することができた。かがしダンスと坂井音頭、坂井市の伝説話、ゆりの学習会、豆腐作り体験、町探検、坂井高校との連携など、各学年で地域人材を活用することができた。また、150周年記念式典では、東十郷小出身の方々に講演や出演をしていただいた。	読み聞かせボランティアを活用できないか。
				保護者	・地域人材の活用			100		
	危 機 管 理	教職員	・登下校の安全	100	100	集団登下校時のトラブルが数件あったが、その都度保護者と連携したり、登校班を組み直したり、登下校に教員が付き添うなどして、迅速に対応・改善することができた。	2学期の途中から4グループに分けて下校させるようになってから、下校時の混雑がなくなり、スムーズに下校できるようになったので、これからも続けるとよい。			
			児童	・安全な集団登校	90			94		
			保護者	・登下校の安全	100			97		